

八王子発「省力型」人材マッチング制度の提案

中小企業と就活生双方の負担軽減をめざして

杏林大学久野ゼミ職場町班

市村優典¹⁾、大國真紀¹⁾、高野真衣¹⁾、高橋凌¹⁾、長谷川貴一¹⁾、平井貴大¹⁾

指導教員 久野 新

1) 杏林大学 総合政策学部

キーワード：中小企業の人手不足問題・学生の就職活動・留学生・人材マッチング

I. 提案概要

本企画では、人手不足ながら資金や人的資源の制約から効果的に採用活動を行えないという中小企業の課題と、資金的・時間的に過酷な状況下で就活を行わざるを得ないという学生の課題を同時に解決するために、市内の中小企業と市内の学生の双方が、時間とお金をかけずに、効率的に採用・就職活動を行うための新たな人材マッチングの仕組みを提案する。

II. 背景と動機

近年、日本では中小企業全体の 60.6%が人手不足に直面しており（日本商工会議所調べ）、人手不足が原因で倒産した中小企業の数も過去 4 年で 3 倍に増加した（東洋経済調べ）。とりわけ中小企業において人材確保が困難である原因としては、（○○ナビのような）就活サイトに求人情報を掲載するための資金不足、そして採用活動に割ける人員や時間の不足の問題が指摘されている（中小企業白書）。八王子市においても、市内企業全体の 99.3%が中小企業であることから、同様の問題に直面している企業は潜在的に多いと考えられる。

一方、職を求める学生側も就活時に深刻な問題に直面している。「就活時に困った事」として最も多くの学生が回答したのは、交通費や宿泊代等の「出費が多い」という金銭的問題である（大学生協組合調べ）。別の調査では、金銭的問題から就活中もアルバイトを継続せざるを得ない学生が 61.3% にのぼる事も報告されている（マイナビ調べ）。加

えて、エントリーシート（以下「ES」）の執筆負担の問題。就活生の平均 ES 提出数は約 26 社であるが（『キャリアアパーク！就活』）、ES1 枚あたりの平均執筆時間は 4 時間とも言われている（就職ジャーナル）。このように日本の就活生は厳しい資金と時間の制約の中で職探しを強いられており、このことも、情報が不足しがちな中小企業に対して学生が応募上の低い優先順位を与えるを得ない要因のひとつになっていると思われる。

そこで、人手不足ながら資金や人的資源の制約から効果的に採用活動を行えないという中小企業の課題と、資金的にも時間的にも過酷な状況下で就活を行わざるを得ないという学生の課題を同時に解決するために、市内の中小企業と市内の学生の双方が、時間とお金をかけずに、効率的に採用・就職活動を行うための新たな人材マッチングの仕組みを提案できないか、と考えた。

III. 提案内容

以上を踏まえ、本提案では、以下の 5 つの新たな機能を備えた、八王子市独自の「省力型」人材マッチング制度を提案する。

第一に、国土の広い米国などで既に相当普及している WEB 面接システム。これにより、多忙な中小企業と学生の双方が、物理的に会う事なく、互いに都合の良い時間にリアルタイムに（あるいは学生が事前に質問項目に回答する姿を録画した動画を用いて）「一次面接」を実施することが可能となる。学生側も交通費をかけずに多くの企業に

応募可能となる。第二に、当制度に参加する市内中小企業が学生に提出させるエントリーシートのフォーマットや記載項目を標準化し、原則として電子化する。これにより学生側の ES 記載負担は大幅に軽減、関心のある複数の企業に効率的にエントリー可能となる。第三に、中小企業による逆指名制度の導入。これは学生が希望する場合、中小企業が検索・閲覧可能な形で ES が共有され、学生の経験や強みに興味を抱いた中小企業の方から学生にアプローチする仕組みである。第四に、筆記試験の合同実施。現在、就活生は SPI をはじめ数種類の異なる筆記試験をたびたび受験している。合同実施により学生側の受験負担軽減はもちろん、中小企業も試験の合同実施によりコスト削減を実現できる。最後に、八王子で学ぶ留学生向けのマッチング機能も追加する。留学生は、市内企業の潜在的な労働力の担い手となりうる。現在、市内には約 3,400 人もの留学生が学んでいるが、卒業後の市内企業への就職を更に円滑化するために、留学生・中小企業双方の情報を互いに容易に閲覧・アプローチできるような仕組みを導入する。以上の各機能に対する学生側・企業側のニーズ調査については、現在実施中である。

IV. 先行事例

たとえば米国の Hire Vue 社が提供する WEB 面接サービスは既に世界大手企業 600 社以上が導入、日本でもユーザーが拡大している。この WEB 面接を導入した株式会社ビューティースリーでは面接の為の出張費や時間の大額な削減に成功、結果的に 5 倍以上の学生と面接を行えたという。

逆指名制度もアメリカで盛んに利用されている。たとえば Hireart というサイトを利用する求職者は 3000 人を超えており、企業も人手不足解消の為に積極的に活用している。

中小企業の人手不足問題は八王子市も積極的に対応してきており、平成 27 年に八王子市中小企業次世代人材確保支援条例を制定したほか、学生に市内中小企業での就職を促すための「はちおうじ就職ナビ」サイトもすでに創設している。留学

生向けの就職サポートとしては、八王子国際協会によるセミナー活動などがあげられる。

V. 運営体制

制度の運用にあたっては、アプリや WEB サイトを新たに作成するのではなく、既存の「はちおうじ就職ナビ」をプラットフォームとして活用、コスト削減をはかる。WEB 一次面接についても、新たなシステム開発は行わず、Skype など既存の無料通話アプリを活用。ES については、商工会議所等の協力を得つつ学生と企業が意見を出し合い項目の標準化を行う。逆指名制度を希望する学生の ES は、パスワード保護を行いつつ、加盟全企業の人事担当者が WEB で閲覧または同報メールで受け取る仕組みを導入。筆記試験の合同実施にあたっては、会場の提供面等で市の協力を得つつ、実施にあたっては加盟企業が費用を負担する。最後に、留学生の応募を歓迎する企業を留学生自身が検索できる機能をサイトに付加する。これら制度の周知にあたっては、市内大学のキャリア関連部署に協力を依頼する。

VI. 新規性

WEB 面接や逆指名制度は米国で普及しており、日本でも徐々に浸透しつつあるが、自治体が関与する制度で活用・導入されている事例は確認されていない。市内中小企業の ES の共通化や筆記試験の合同実施についても前例は確認されていない。

VII. 期待される効果

本制度導入により、市内中小企業にとって時間と費用を大幅に節約しながら面接回数を増加させ、採用のチャンスを拡大できる。留学生を含む就活生にとっても、ES 執筆、筆記試験、面接の時間と費用を大幅に節約しながら効率的に市内の複数企業に応募可能となり、内定獲得のチャンスが拡大する。企業と学生双方に多大なる労力とコストを強いる現在の日本型就活制度の課題を他の自治体に先駆けて一部でも解決すれば、学園都市八王子としてのイメージもさらに向上するであろう。